

令和7年度 第6回教育委員会 議事録

会議次第

- ☐ 日 時：令和7年9月2日（火）13時30分
- ☐ 場 所：東彼杵町総合会館 教育センター 小会議室
- ☐ 出席者：（教育委員）山口直登 （教育委員）橋本茂子
（教育委員）池田孝之
（教 育 長）山口 厚 （教育次長）岡田半二郎 （総務係長）川本晃弘
- ☐ 欠席者：（教育委員）中里知子
- ☐ 教育長挨拶
- ☐ 議題
 - （1）議事録の承認について
 - （2）協議事項
 - ① 令和7年度教育施策の評価について
 - （3）報告事項
 - ① 学力向上施策について
 - ② 8月行政報告
 - ③ 9月行事予定
 - （4）その他
 - ① 教育委員会学校訪問について
 - ② 中学校体育大会及び小学校運動会

会議記録（報告及び質問又は協議の要旨）

開会 13時00分

教育長挨拶

8月19日開催の学力向上研修会、8月21日開催の九州地区教育委員会研修大会参加へのお礼を述べ、また2学期開始の9月1日の各学校の様子に触れ、特に問題となる事案対応もなく、順調にスタートしていることを報告する。

また8月中に開催した教職員のICTや学力向上、学校支援員研修など各種研修結果について、アンケート結果や教職員の感想など交えて報告される。

その他、ICT教育にかかる情報モラル、情報セキュリティカリキュラムの運用にあたる情報セキュリティポリシー作成準備やセクハラアンケート調査結果報告、また台風等への備えの防災体制や学校内の安全・安心な環境確保の安全対策などについて紹介し、挨拶を行った。

議題

（1）議事録の承認について

教育次長

先に送付していた6月4日開催の令和7年度第3回定例教育委員会の議事録の内容確認について、山口委員より誤字の指摘があり、修正を行った。

その他には、意見や修正は無く、修正した内容をもって承認を求めた。

教育長及び教育委員全員の意見

修正内容をもって、承認を受ける。

教育次長

只今、承認を受けました議事録の議事録署名人について、山口委員を指名し、承諾を求める。

教育長及び教育委員全員

承諾を受ける。

（2）協議事項

① 令和7年度教育施策の評価について

教育次長

協議議題について、今回の協議の趣旨として、令和7年度教育施策の中間評価、また令和8年度事業検討及び予算編成に向けた検証、及び町総合計画や総合戦略等の行政計画の政策目標に係る評価・検証として協議した旨を説明し、評価

結果の説明については教育長から受けることを紹介する。

教育長

令和7年度の学校教育係における重点目標、また重点目標に係る評価の指標、そして、令和7年度において予算を伴わせ実践的に取り組む学校教育係施策及びその評価等の詳細について、資料をもとに説明を行われる。

池田委員

現事業の中間評価は、今後、町の事業施策に向けた予算編成等に関わる事業検証に関りがあると理解しました。これに加えて町総合計画でも学力向上の指標があったりすることから、このような中間評価についても提示いただいた方が、教育委員会の全体的な取り組みが分かりやすいのではないかと思います。

2点目に、他課との関係の部分で、こども健康課とかの関わりなどを記載すると、町の教育施策の全体的な流れや指標の成果などが分かるのではと思いました。

3点目に、「豊かな心の育成」の部分で、重点目標の「2. 豊かな心」指標の「いじめ重大事案」が「0」とすることは確かに目標で大切するところだと思いますが、その前にもう少し具体的に分かりやすくしてはどうかと思います。例えば、不登校は30日以上欠席ですが、その前の15日以上を目標にするということです。早期に把握して予防的に対応していくことで重大事案につながらなく、評価がしやすくなるのではと思ったところです。

最後に、不登校関連についての他課との関係として、相談窓口が「こども健康課」ということですが、子どもたちの情報は教育委員会に流れてきているのでしょうか。

教育次長

子育てに関する行政の対応は、専任的な政策として、こども健康課で対応し、子育て支援計画の中では、教育委員会の関係項目も当然ありますので、年3～4回の情報共有等を行いながら、外部の委員の方々のご意見や評価を行っているところです。

池田委員

具体的に例えば、中学生からの相談が子ども保健課の相談窓口につながったときに、教育委員会にも連絡が来るようなシステムが出来ているのですか。

教育次長

現状、そのようなケースはありませんが、そのような対応を取ってもらう必要はあります。また、そのような関連の例として、虐待にかかる情報共有は、既に情報共有化の電算システム化されており、教育委員会内で事案を確認でき、関係性が把握できるようになっています。

その他の事例としては、ケース会議などになりますが、やはり事案が発生した時のみの対応となっています。

教育長

不登校に関して、30日を超える子どもたちは実際として出てきますが、指標の括弧書き部分は復帰した子どもたちの人数になります。不登校の調査でも50日以上や重篤化した90日、100日以上で殆ど学校に來られていない状況の把握なども行って、例年3月には不登校対策委員会で、もう少し詳しく傾向や検証する形を取っていますので、さらに詳しく効果が見てくる部分を評価で出来るような形にしたいと考えています。

池田委員

指標に、「新たに不登校になった」とありますが、これは去年の子どもたちは除いて、新たに不登校となった人数のみの数値となりますか。

教育長

はい、新たに不登校となった数値となります。現状としてはもう少し人数はあります。

また、いじめの認知件数は、文科省も長崎県も言っていますが、長崎県はいじめの認知件数が低いと指摘されています。

本町でも以前から「ゼロ」との数値でしたが、一昨年から細かい情報収集を学校に働きかけてきており、結果、各学校から今年1学期にはある程度挙がってきています。

学校からの報告も簡素化し、学校で出来るだけ把握できるような、また全職員が共通理解して、学校と教育委員会で共有できるような書式に変えて、学校全体でも確認共有できるように進めているところです。

山口委員

施策評価の不登校対策関連連携事業の役場こども健康課との連携について、義務教育を離れると、どうしても後のフォローが手薄にもなり、引きこもり事案が増えてきてしまう状況になると思われますので、是非このような対策を継続していただきたい。自治会や地域の中では、なかなか表だって支援することは現実的に厳しい面があるので、行政の対策を構築し継続してほしい。

教育次長

引きこもり対策については、就労支援の対策も含めて連携協議会を設定しておりますが、課題として家庭に入って情報収集が出来ないケースがあり、中学校を卒業した後は非常に情報収集が難しい状況で、各方面との連携・調整が必要だと思われるます。

橋本委員

引きこもり対策の情報収集の件ですが、先般の県の教育委員会研修会の分科会でもこの件が課題になっており、どの市町でも親がシャットアウトするケースが多く、関わってほしくないとの意識が強い保護者が多いとの意見等が出ていました。またこの状況は都市部だけでなく、郡部でも多いとの話が出ていました。

(3) 報告事項

① 学力向上施策について

教育長

次年度の学力向上対策について、次年度の施策として現在検討している下記事業の内容について資料をもとに説明を行う。

- オンライン英会話システムの実施
- 中学生及び高校生を対象とした「生成AIクラブ」の実施

※ 令和6年度全国学力・学習状況調査経年変化分析及び保護者に対する調査の結果について

教育次長

標記資料について、長崎県教育委員会から周知・活用があったことから、資料の提供に合わせて説明を行う。

② 8月行政報告について

教育次長

資料により、説明を行う。

③ 9月行事予定について

教育次長

資料により、説明を行う。

(4) その他

① 教育委員会学校訪問について

開催日程及び当日の出欠を確認する。

- ・ 彼杵小学校 日時：10月1日（水） 8:30～12:45
- ・ 千綿小学校 日時：11月18日（火）未定

② 中学校体育大会及び小学校運動会

開催日程を紹介し、後日、案内の通知があるので、日程調整を依頼した。

東彼杵中学校：10月19日（日）8:40 開会【※予備日10月22日（水）】

千綿小学校 ：10月26日（日）

彼杵小学校 ：10月26日（日）

○次回開催日の開催日程調整

次回定例教育委員会を、彼杵小学校学校訪問日程に合わせて、10月1日（水）13時30分から開催することに決定する。

16時46分 閉会

議事録署名

令和 7 年 11 月 14 日

教育委員 山口直登

教育長 山口厚